

お知らせ

## 日本鑄造工学会の講演大会にて豊田賞受賞記念講演を行いました

古河キャステック株式会社は、2021年5月23日、公益社団法人日本鑄造工学会主催の第177回全国講演大会にて、令和 2年度豊田賞受賞記念講演を行いました。本講演は、日産自動車株式会社と共同開発した「アルミ鑄造用耐溶損技術の開発」が2020年に豊田賞を受賞したことによる記念講演です。

講演内容：「アルミニウム合金鑄造金型用耐溶損ブッシュの開発」

自動車用エンジンのシリンダヘッドなど、アルミニウム合金部品の鑄造工程に使用するトケナイト製の金型湯口ブッシュを開発。アルミニウム合金と接触する内面に高断熱な保護膜を持ち、溶湯温度の低下を防止し、流動性を保つために金型薄肉部分までアルミニウム合金溶湯を供給することが可能となった。保護膜にはアンカー効果を持たせる構造とすることで、膜の剥離を防止し耐溶損性を確保。従来の寿命を大幅に超えても問題なく使用可能となり、金型交換や保守作業の負荷を低減し生産効率を大幅に改善した。

●古河キャステックの「トケナイト」についてはこちら

[http://www.furukawacastec.co.jp/img/wk/2018\\_tokenaito.pdf](http://www.furukawacastec.co.jp/img/wk/2018_tokenaito.pdf)